

(その1)

○この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものであります。

○選挙公報の掲載順序は、くじで定めたものであり、立候補の届出順ではありません。

立ち止まっている時間はない

夢ある四国中央市へ

- ① 四国初のアウトレットモールの誘致
- ② 四国新幹線の四国中央駅の誘致
- ③ 四国大学交流センターの整備

政策課題

1 緊急課題への対応

- ①大手製紙会社民事再生後の雇用を守ります
- ②地域医療を守ります
- ③買い物環境を守ります(スーパー・移動販売)

2 身近な現実課題への対応

- ①道路補修の充実
- ②小公園の公民館周辺への整備
- ③循環型ミニバス導入による公共交通再構築

昭和39年生 上柏町出身在住

製紙会社三交替の父と

金封内職の母の兼業農家

昭和46年 松柏保育園卒 昭和62年 市役所入庁

昭和52年 松柏小卒 平成28年 総務課長

昭和55年 東中卒 令和元年 財政課長

昭和58年 三島高卒 令和3年 副市長

昭和62年 立命館大卒

政策の具体的方針

- ①女性に好かれ、若者にささるまちに
- ②紙のまちの底力を見せられるまちに
- ③みんなが健康で元気なまちに
- ④人にやさしい、やすらぐまちに
- ⑤身近なところが安心・便利・快適なまちに
- ⑥地域の個性と魅力を生かせるまちに
- ⑦情報発信と宣伝力でもっと知られるまちに

副市長として／コロナ禍、渇水などの危機対応主導
財政健全化（借金低減、貯金確保）

広報紙充実など情報発信を活発化

20周年記念事業を主導

書道パフォーマンス甲子園に青柳美扇さんや
TAKAHIROさん起用を発案

強み／若さと経験が強みです！

若さを失わず意欲にあふれています

38年の行政経験と副市長や秘書として
3人の市長に16年仕え市政運営を学ぶ

O
ne
e
し
こ
ち
ゅ
う
チ
ー
ム
し
こ
ち
ゅ
う
DE
が
ん
ば
ろ
う！



高橋誠

まこと

消滅都市へ向かう四国中央市。“変えるか、消えるか”。
これは、私たちに与えられた——最後のチャンスです。

今こそ、変える覚悟を。

100年後の子供たちに誇れる街づくり

街づくり改革1

“誇り”を灯せ、
暮らしと商いをつなぐ街づくり改革

- ①市内全体の“動線”を再構築
- ②空き家を活用した多世代共生のまちづくり
- ③循環型コミュニティバスの進化的運用
- ④まちに“経営感覚”を!伝統と
革新の融合による持続可能なまちづくり

行政改革2

“正直経営”から始める、
真っ当な市政改革

- ①行政の見える化とスリム化
- ②若者・民間力とつくる“共創型市役所”
- ③持続可能な公共施設・インフラ運営
- ④未来志向の財政改革と投資戦略

医療改革3

“命”をあきらめさせない、
現場とつくる医療改革

- ①中核病院・広域連携による医療再生
- ②医師確保と定着支援の強化
- ③ICTを活用した地域医療ネットワークの確立
- ④医療と福祉の一体化的なまちづくり

子育て改革4

“みんな”ついてる、
まちと育てる子育て改革

- ①共働き家庭を支える
送迎・保育インフラの強化
- ②「誰でも通園制度」で育児にゆとりと安心を
- ③経済的負担の軽減と応援の見える化
- ④地域ぐるみで子育てを支える仕組みへ

教育改革5

“生きる力”を育てる、
次世代型教育改革

- ①探究・地域連携で“課題解決力”を育む
- ②実践型英語教育で“使える力”を育てる
- ③個別最適な学びとICT活用の推進
- ④教員の負担軽減と“教える力”的回復へ

市政に「正直経営」を！**変えていこう！四国中央市！**



大西ひでひこ

令和7年4月20日執行
四国中央市長選挙

選挙公報

投票日 4月20日(日)

四国中央市選挙管理委員会

【経歴】	【現在役職】
1958年(昭和33年) 4月12日生	愛媛県立三島高等学校 葵門同窓会 会長 四国中央市バレーボール協会 会長
1965年(昭和40年) 三島幼稚園卒業	●日本青年会議所 常任理事 四国地区協議会 会長
1971年(昭和46年) 三島市立三島小学校卒業	●宇摩合併研究会 座長 ●日本青年会議所 監事
1974年(昭和49年) 三島市立三島東中学校卒業	●全日電工連 四国ブロック青年部連絡協議会 代表幹事
1977年(昭和52年) 愛媛県立三島高等学校卒業	●愛媛県電設業協会 会長
1982年(昭和57年) 日本大学理工学部卒業	●伊予三島ロータリークラブ 会長
1995年(平成7年) 新興電機株 代表取締役 就任	●四国中央市スポーツ協会 副会長